

2026 年度 第 1 回 スタートアップ助成 対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を支援しています。このたび、2026 年度 第 1 回 スタートアップ助成の対象事業を決定しました。

216 件の申請があり、48 件を採択しました(採択率 22%)。助成予定総額 32,595 千円です。

■ 2026 年度 第 1 回 スタートアップ助成 申請・採択件数

	申請件数		採択件数	
	個人	団体	個人	団体
音楽	19	31	6	8
演劇	25	49	4	13
舞踊	3	11	2	4
美術・映像	29	17	5	1
伝統芸能	1	3	1	0
複合	10	18	2	2
合計	87	129	20	28

・対象期間:2026 年 9 月 1 日以降に開始し、2027 年 8 月 31 日までに終了する事業

■ 2026 年度 第 1 回 スタートアップ助成 採択事業 一覧

申請 216 件、採択 48 件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	交付決定額(千円)
音楽	都内での芸術創造活動	団体	HAPPY UNDERGROUND!!!	最暗黒の東京	1,000
			ToriCote Tokyo	清川美穂帰国記念バースデーライブ『日本的感性と西洋的視点の交錯』	950
			Open Works Collective	異国からの響き Vol. 2	1,000
			Madrigali Armoniosi	Colla Parte: Amor et Caritas in Musica Palestrinae	1,000
			カルチャーコモンズ	第11回西洋音楽史講座：A. シェーンベルクと新音楽の射程	150
			アンサンブル・リカレンス	アンサンブル・リカレンス第2回公演「流るるアソナンス」	1,000

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	交付決定額 (千円)
音楽	都内での 芸術創造 活動	団体	プリンスオペラ	プリンスオペラ第2回公演 ヴェルディ作曲 歌劇「仮面舞踏会」	1,000
			中目黒アートセンター	【モートン・フェルドマン没後40年特別公演】フェルドマン最大作品「弦楽四重奏曲 第2番」(5時間-6時間/目安)	1,000
		個人	栗原柊馬	2×2 GEVIERT -Two piano and Two percussion-	300
			千葉水晶	音楽の変容ー南蛮音楽から現代ポルトガル・日本へ	300
			廣庭賢里	Métamorphose	300
			浦山翔太	反照ー古と今ー	300
			大高真梨絵	イギリス歌曲リサイタル	300
			安藤直弥	安藤直弥 plays 川島素晴 vol.1	300
演劇	都内での 芸術創造 活動	団体	No Horn Unicorn	No Horn Unicorn 第2回本公演『アルトゥロ・ウイの興隆』	1,000
			namu	namu第3回公演「ゼロ」(仮)	1,000
			劇団ちょっと。	劇団ちょっと。第5回公演「待合広場」	1,000
			ん坊の国	ん坊の国 演劇作品	1,000
			宝宝	宝宝(3かいめ)『はんぶんのいち(仮)』	1,000
			かなり朱い	かなり朱い 第2回公演『してしまった満足』(仮)	741
			劇団ドラハ	劇団ドラハ 第三回本公演「(タイトル未定)(仮)」	1,000
			アイツグ	アイツグ第2回公演「きみ」	1,000
			丸丸企画	丸丸企画第4回公演「夏休み何してる？」	1,000
			踊場海月	踊場海月第3回公演「ライトスタッフ」	1,000
			焦企画	『おめでとう、愛子』	931
			無駄な部屋	無駄な部屋2026年度2月公演『One and Only』	1,000
			Rabatt Gebet	Correspondence Theater 2027 Tokushima - Tokyo	969
		個人	小林桜子	PROOF PROJECT (仮)	300
			安藤優	呪貴族 旗揚げ公演『ユーフォーママ』	300
			佐藤昼寝	炭水化物たち(仮題)	300
			磯馴萌々子	いち企画第1回公演 「あなたとここで」(仮)	300

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	交付決定額 (千円)
舞踊	都内での 芸術創造 活動	団体	マノ・フラメンコ国際交流実行委員会	美しい嘘 - 渴きに踊り、奏で -	1,000
			遊舞舎	舞踏公演 「埋み火」	900
			コンペイトウ & Co.	コンペイトウ & Co.新作公演「偶然の幾何学」(仮)	1,000
		個人	中里真央	中里真央フラメンコリサイタルVol.3「Hacia AdelanteIII -祝福のその先に-」	300
			おかだゆみ	おかだゆみ新作公演	300
	国際的な 芸術創造 活動	団体	おどのま	デンマーク×日本共同制作 PRESENT - 贈り物と身振りをテーマにした、乳幼児のためのデュオ作品(仮)	1,000
美術・映像	都内での 芸術創造 活動	個人	中島裕子	「あなたがホーホケキョと鳴けば、わたしもホーホケキョと鳴く。」(公開制作によるインスタレーション展示)	300
			檜村さくら	檜村さくら個展 光と空間のダイアログ:「イメージ」の生まれる時	300
	国際的な 芸術創造 活動	団体	Lab o Laboratory	INTER fog FACE	1,000
		個人	眞鍋美祈	視線の触覚性の拡張: Echosorbed Sightのタイにおける展示	300
			林樹里	Sawari: Before It Appears (仮題)	300
			古澤龍	国際展「Climate Imagination」(RIXC Art Science Festival 2026) 出展プロジェクト	300
伝統芸能	都内での 芸術創造 活動	個人	山脇貴久恵	山脇貴久恵箏リサイタル	300
複合	都内での 芸術創造 活動	団体	合同会社ミノダミュージッククリエイティブ	交差の手前でーヴァイオリンと影絵が描く二つの世界	1,000
			Siika-Siika	ヘテロフォニーは呼応する	1,000
		個人	卯月梨沙	卯月梨沙	300
			朝倉市	野を読む図法	254

■ 2026 年度 第 1 回 スタートアップ助成 採択結果の概況

スタートアップ助成は、東京の芸術シーンで活動を展開していこうとする新進の芸術家や芸術団体等がチャレンジする新たな芸術活動を支援する助成プログラムです。2026 年度第 1 回の本公募では、216 件の申請があり、48 件の採択となりました。申請件数は、前回(2025 年度第 3 回)の 208 件より増加しました。

今回の公募でも、申請者名と主催名義等の不一致や収支予算書の不備などが多く見られました。申請者名、主催名義、団体申請においては定款・規約等の名称が一致していることが必須要件となりますのでご注意ください。また、団体申請で申請団体名義での過去実績が確認できない場合、要件不備となります。申請フォームの入力が終わっても、再度入力内容を見直し、アップロードしたファイルも間違いがないかのチェックを行ってから提出ボタンを押していただくようお願いします。締切が迫ると内容の確認が甘くなることも考えられますので、締切までに余裕を持った申請書作成のスケジュールをご検討ください。

なお、美術作品販売を含む活動、映画作品を製作し配給・興行を行う活動は、スタートアップ助成の対象となりませんのでご注意ください。事前に、対象となる事業/対象とならない事業及び申請者の要件を十分ご確認の上、ご申請くださいますようお願いいたします。

当助成プログラムでは、事業内容が明確であり、実現にあたっての予算やスケジュールが適切に計画されている事業を助成対象としています。また、過去に不採択となった事業でも、再度ご申請いただくことが出来ます。年 3 回の公募を行っておりますので、事業の具体性や実現性を明確にして、適切な時期にご申請いただきますようお願いいたします。

申請書の作成にあたっては、公募ガイドラインをご確認いただくほか、よくある質問については Q & A にまとめていますのでご活用ください。ご不明な点がございましたら、お電話、「お問い合わせフォーム」での問い合わせや公募説明会での質問も受け付けておりますのでどうぞご利用ください。

●音楽分野

音楽分野では 50 件の申請があり、うち 14 件が採択に至りました。採択された事業はクラシック・現代音楽の申請が中心となりましたが、いずれも申請者独自のコンセプトが提示され、プログラムに工夫がみられる事業内容となっています。若手作曲家による新作発表が予定されている事業では、事業の目的・内容に基づいた創作面の独自性が企画書等に明確に示されており、公募ガイドラインの「審査の観点」において高く評価できる事業が採択に至っています。一方で、申請者のこれまでの活動の延長線上にあり、企画書から独自性やチャレンジ性が読み取れない事業、創作プロセスや演出プランの詳細について説明が不足している申請については、採択に至りませんでした。提出書類については、予算計画に不整合・不明瞭な点が多い申請も見受けられました。ウェブサイトには「よくある質問 Q&A」も掲載しておりますので、ご参照いただき、提出書類や事業内容について今一度ご確認ください。ご申請をお待ちしております。

●演劇分野

演劇分野では 74 件の申請があり、17 件が採択となりました。多くの申請で、創作活動の経済的・体力的・キャリア的な持続可能性が課題としてあげられていました。この課題への応答として、創作にかかわるメンバーを固定せず、プロジェクトごとに柔軟なクリエーションを行おうとする申請が複数見られました。その中でも、長期的な目標や活動テーマを明確に設定することで活動の特色や独自性を確立し、今後の展開が期待できる申請が採択に至っています。また、医療・教育・ケアのテーマを扱う作品や、アクセシビリティや鑑賞サポートへの取り組みに注力しようとする申請も目立ちました。そのうち、申請者がそのテーマに取り組む必然性や、申請者独自の視点やアプローチが読み取れる申請が採択に至っています。一方で、申請書の記述が不足しており、申請事業や申請者の活動の独自性・チャレンジ性を客観的に読み取ることでできない申請は、採択に至っていません。申請書を作成される際は、公募ガイドラインの「審査の観点」を参照しつつ、ご自身の活動のユニークさや作品の魅力が伝わる、具体的な記述をこころがけていただくようお願いいたします。

●舞踊分野

舞踊分野では、14 件の申請があり、6 件が採択に至りました。申請のあったジャンルは、コンテンポラリーダンス、舞踏、ジャズダンス、タップダンス、フラメンコ、タンゴ、日本舞踊など多岐にわたりました。観客層の拡大や新たな表現の獲得を目指し、申請者とは異なるジャンルのダンサーや音楽家、アーティスト、研究者と協働を行う事業が複数あった中で、その必然性が明示されているものが採択に至っています。一方で、出演者、会場、観客のターゲット層などに必然性やテーマとの関連が読み取れないもの、表面的なコラボレーションに留まっているものは不採択となっています。大きなテーマを掲げても、それを表現・実行するための道筋が示されていない場合、「審査の観点」における事業内容の具体性や実現性を評価することが難しくなります。様々な舞踊の公演や試みの行われている中で、自身の舞踊の魅力を改めて掘り下げた、独自性・チャレンジ性のある企画の申請をお待ちしております。なお、団体申請において、過去の実績に申請団体名のクレジットが確認できない場合、要件不備となりますのでご注意ください。

●美術・映像分野

美術・映像分野では 46 件の申請があり、6 件が採択に至りました。採択された申請は、都内での個展 2 件、海外招聘及び海外滞在制作発表 4 件です。個展は、具体的な展示プランが示されつつ、他者との対話や制作過程そのものを作品に組み込もうとする独自性の高い事業が採択に至りました。海外実施事業では、継続して取り組んできた自身

のテーマと渡航先での経験や現地の風土を接続し、新たな表現を試みるチャレンジ性の高いものが採択に至っています。一方、申請者がキュレーションを行う事業において参加作家の選定理由が不明瞭なもの、テーマやコンセプトの説明に終始し具体的に何をどう展示するのかなどの計画が示されない事業は不採択となっています。また、今回不採択となった事業には、要件不備が散見されました。団体申請において必要な「過去の活動内容を示す資料」内に申請団体名と同一の名義が確認できないもの、申請者と主催者が一致していないもの、美術作品販売を含む事業、映画作品を製作し配給・興行を行うものなどがこれに該当しました。自身の団体や事業が助成対象となる要件を満たしているか、必ず公募ガイドラインを確認した上でご申請をお願いします。

●伝統芸能分野

伝統芸能分野では 4 件の申請があり 1 件が採択に至りました。採択された申請は、事業の目的と自身の挑戦となる事柄が明らかで、さらに実施計画が練られたものでした。残念ながら採択に至らなかった事業は、事業の目的やねらいに対する具体的な方法が不明瞭なものや、事業計画や過去実績から実現性が読み取れないものが目立ちました。ご申請の際には、事業の目的やねらいと、事業内容における具体的な方法や工夫との関連性が分かるようにご記載ください。また、「過去の活動内容を示す資料」は活動の様子がよく分かる映像資料のご提出をお願いします。

今回、すべての申請が初申請でしたが、申請数はこれまでで最少でした。スタートアップ助成では、団体申請では団体設立から 3 年未満、個人申請では都内で自ら公開活動を初めて主催してから 3 年未満、又は、都内で自ら主催した公開活動の実績が 5 回以内であれば、過去に不採択となった事業でもご申請いただけます。ご申請時には公募ガイドラインをよくお読みいただき、ご不明な点は事前にお問い合わせください。ご自身の活動のなかで感じられた課題や疑問を起点とした、意欲的なご申請をお待ちしております。

●複合分野

複合分野では、28 件の申請があり、4 件が採択となりました。採択された申請は、写真家の二人展が 1 件、詩人と版画家の二人展が 1 件、ヴァイオリニストと影絵とのコラボレーション企画が 1 件、メディアアーティスト団体による合成言語の歌を用いた野外サウンドインスタレーションが 1 件で、実現性が高く分野を横断した表現形態の創出が期待できる事業です。一方で、領域を横断した試みに独自性がみられるものの、制作のプロセスや発表の形態が不明瞭で具体性や実現性の見通せない申請は不採択となっています。また、申請者が主催でない、申請団体と定款の名義が一致しない、申請者の過去実績が確認できない、映画作品を製作し配給・興行を行うものは、要件不備となっています。申請前に公募ガイドラインで、助成対象となる事業、助成対象とならない事業、申請者の要件をいま一度ご確認くださいようお願いします。

■ 審査プロセス

以下の審査プロセスによって、採択を決定しています。

提出された申請書類をアーツカウンシル東京が精査し、事前調査や外部有識者の意見を踏まえて助成課長が評価案及び採択原案を取りまとめます。その後、アーツカウンシル東京機構長の審議を経て、公益財団法人東京都歴史文化財団が決定します。

2026 年度 第 2 回 スタートアップ助成の申請受付期間は 2026 年 8 月 25 日(火)10 時～9 月 24 日(木)18 時です。
助成対象期間は 2027 年 1 月 1 日以降に開始し、2027 年 12 月 31 日までに終了する事業となります。
詳細はアーツカウンシル東京のウェブサイトをご覧ください。
<https://www.artscouncil-tokyo.jp/grants/startup-grant-program/>

＜本事業に関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 活動支援部助成課 担当：玉虫、西本
TEL：03-6256-8431 E-mail：startup@artscouncil-tokyo.jp

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部広報課 広報担当：関次、柳生
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/>